

日本機材株式会社

自動化ニーズに応え、産業界に貢献

— 空気圧装置からソリューション提供、体制強化

ここに注目!

関西学研都市にNKソリューションセンター開設
ロボット・センシング・製造装置・システム (AI) を組合わせたソリューション提案で実績

日本機材株式会社はファクトリーオートメーション (FA) 市場の専門商社で、製造業などの顧客に寄り添い、着実に成長している。SMC株式会社グループのトップ代理店として、また近年は自動化のソリューションエンジニアリングにも注力。新拠点のNKソリューションセンター (京都府木津川市) で、ロボット・製造装置・センシング・システム (AI) を複合的に組み合わせ、顧客ニーズ

に合わせた製品を提供する体制を強化した。自社の業務のデジタル変革 (DX) も推進し、今後一段の需要拡大に備える。

ソリューションセンターの計画から展開

日本機材のNKソリューションセンターは2020年8月に、1万6,500㎡の敷地に、物流拠点の西日本ロジスティクスセンターと併せて開設。ロボットセンター (施

設面積580㎡)、ものづくりセンター (同960㎡) などを構える。ロボットセンターは産業用ロボ、協働ロボ、AMR (自律走行搬送ロボット) などを展示し、研修や操作トレーニングのほか、ラボ機能を備え、実験・検証にも使う。ものづくりセンターは、設計・組み立て・検査の一連の設備を整備し、顧客注文に応じてユニット機器などを供給する。

同センターは、京都市、大阪市の中心部、中部圏から交通アクセスが良い、関西文化学術研究都市エリアに位置する。学研都市という立地特性に則して、ロボットや製造装置等の技術拠点の機能として、また、物流センターの拡大を目的とした複合センターとして運営している。「センターを訪れるユーザー様に当社のソリューション機能を知ってもらおう場としても活用しており、当社の新たな事業展開に大きく貢献している」と、脇坂雄三社長は話す。

SMC代理店として、創業し代理店では今も国内販売トップ。SMCの空気圧機器を主に自動車産業向けに販売し、その後、半導体製造向けが加わって業容が急拡大した。社員の多くが空気圧組立て技能士の国家資格を持ち、足並みそろった技術的知見による営業・サービスが自慢。中国、シンガポール、マレーシアの3カ国に海外拠点を有する。

ロボットは2000年頃から取り扱いを始め、搬送工程をはじめ、組み立て、検査工程などに営業の幅が広がった。製造業のパート



NKソリューションセンターはロボットセンター、ものづくりセンター、ロジスティクスセンターを有する



自社取り扱い製品を集めた「ThaNKs展示会」の風景



協働ロボットパレタイジングシステム



AI外観検査システム



説明員

ナーとして現場をよく知り、ロボット・製造装置などを顧客が現場で確実に使えるような形で提供する。

AI分野では、機械学習データの作成に強い外部企業2社と提携している。現在に至るまで、製造装置・センシング・AI機能を組合わせ、製造工程において人が行ってきた仕分け作業の自動化を実現するなど、顧客の人材不足への対応に貢献する案件も複数受注できている。「案件が今、100件ぐらい寄せられている」と、脇坂社長は手ごたえを示す。最近では、海外のロボット、AIの新鋭企業から、代理店にならないかといち早く声がかかるようになった。

サンクス展、地域貢献など、外部との交流も拡大

NKソリューションセンターでは、仕入れ先企業と協力した見本市「ThaNKs (サンクス) 展示会」を2021年から開催。2023年7月19-21日の第3回サンクス展は、41社が出品し、ロボットやAIなどの技術・製品を出品。3日間で客先から210社・562人が足を運んできた。じっくりとユニークな新技術を吟味できる場として好評だ。地域貢献の場にも役立つよう、2022年10月にロボットのプログラミング教室「プログラボ」を開校し、日本機材の社員らが講師役で運営している。

近隣には国内有数のマンモス小学校があり、実践的なロボット拠点に併設のプログラミング教室には、多くの児童らが通ってくる。

2030年にかけて、主力の半導体分野の顧客からは半導体需要が2倍に増えるとの見通しが提示されている。マンパワー増員に頼らず、需要の大波をいかに効率的にさばくかが、喫緊の課題。多品種・変量の受注をこなす営業・管理に新たな自動化システムを検討。基幹システムについても再び大がかりな更新が必要と見ており、この3-4年で稼働させるよう検討を急ぐ。業容拡大に向けて、刷新の作業が続く。

わが社を語る

代表取締役社長
脇坂 雄三氏



面白味を感じてもらえる会社に

SMCの空気圧機器の販売にまい進し、近年は、自動化のソリューションにも力を入れています。労働人口減少に対してロボット化を推進される企業が多く、気軽に相談してもらえる会社でありたい。顧客の現場で、確かな結果を出してきた会社だと自負しています。

経営理念は「信頼と活力」。これまで業績低迷などの苦しい時、顧客やさ

まざまな関係先に助けられたという思いがあり、20年ほど前に制定しました。2025年に大阪・関西万博も開催されますし、関西人、大阪人らしい面白みを当社からも感じてもらいたいです。均一ではなく個性が豊か、何か新しい提案がありそうだなと、当社の営業マンらが訪問した際、感じてもらえるようだとありがたいです。

会社 DATA

所在地：大阪市中央区安土町1-8-15
設立：1965年 (昭和40) 5月
代表者：脇坂 雄三
資本金：3億4,000万円
従業員数：365名 (パート除く)
売上高：389億円 (海外含め422億円)
事業内容：各種自動制御機器、産業用ロボットおよびシステム、各種産業機械の販売および輸出入、各種装置のユニット、モジュールなどの設計製作、ECサイト運営など

URL：http://www.nihonkizai.co.jp

